

SELF HELP GROUP

Wendy²¹

ウエンディ21は障害のある人の社会参加を支援するグループです。



2014/8/27 リニューアル中@ウエンディ本部

2014-9 VOL.90

タイトル キッズドライビング



タイトル スプーンのおじれ



平成十年 ぶらここに 揺れて大空 仰ぎけり 松本聡子(著書、「噴水の虹」より)



ころんでも またおきあがれば もとどおり 作 中西克徳

イライラ

先生、私の頃落ち着きがないのです。さちこさん何か困ったことがあったのですか。先生何故わかるのですか。さちこさんあなたの顔に書いていますよ。先生、実は私思ったことが出来ないのです。さちこさんみんなそうですよ。先生、私はどうすればいいのですか。さちこさん。さちこさんが思っていることの10分の1だけするといいですよ。先生、10分の1だと物足りないのですが。さちこさん、10分の1だと落ち着きのないことにきずかなくてすむでしょ。 by ぞうつかい

ピア・カウンセリング 北九州市から委託を受けてピア・カウンセリング事業を行っています。ピア・カウンセリングとは同じ障害を持つ仲間どうしで情報を提供しあったり体験を共有し勇気づけたり問題を解決する手助けを行うものです。平日の11:00から15:00までの最長2時間、月に5回まで無料で受ける事が出来ます。時間外や訪問も場合によっては、ご自宅、喫茶店、病院等ご自由な時間帯にやっています、当事者だけでなくご家族のカウンセリングも行っております。よろしくお願ひ申し上げます。

けんち★です♪(編集後記) 今年度10月7日で、ウエンディがNPO化して10年の節目を迎えます。平成26年6月1日付けで、10年間見守って下さった榎本孝史先生に代わって、私(けんち:米島健二)が理事長をする事になりました♪ 一つに責任という問題があります♪ 運営しているウエンディ本部という主体の責任を、現在学校の仕事をされている榎本先生にいつまでもおかけしては、この先何かあった時に申し訳が立たないという事があります♪ NPO法人の理事長は、医師とか教授とか専門職の方になって頂いた方が世間体がいいという意見もあったのですが、事実上全責任を負うという形で、当事者主体の事業所の責任を当事者が取るという当たり前の事から、今まではブレていたのでは無いかと思います♪ 何か事があつたら榎本先生に相談すれば良いという思いがあつたのは事実ですし、実際そうやって切り抜けてきました♪ しかし人間も10歳になれば十分自立してくるし、法人も10年すれば運営主体を自立させなければなりません♪ 今回客観的な判断を仰ぐという形で看護師:吉田礼子さんを雇用したのも、中に支援者がいないと、理事を支援者で固めるよりは数段違った活動が出来ると判断したからです♪ ウエンディは法人である前にセルフ・ヘルプグループである事を再認識しないとイケないと思います♪ その為にも一人一人のメンバーの成長がウエンディの成長につながる物として意識して活動をお願いしています♪ 作業主体のセンターからフリースペース主体の地域活動支援センター(ウエンディ本部)を活動の中心に変えてから、メンバーの数は減りましたが、支援の質はより高く勉強してまいりたいと思っています。そのために職員の日々の研鑽もあります、メンバーの皆さん(私も含む)の、未来を明るく照らし出して、心の避難・成長の場としての役割を各団体と連携して築いて行こうと思っておりますので宜しくお願ひ致します♪



<http://www.wendy21.jp>

発行 平成 26 年 8 月 2 7 日 NPO 法人ウエンディ
地域活動支援センター ウエンディ本部
〒800-0043 北九州市門司区緑ヶ丘 10 番 19 号
Tel : 093-383-3169 Fax : 093-391-2167 <mailto:wendy21@f2.dion.ne.jp>